

第1学年 社会科実践事例モデル (在籍学級)

(1) 単元 (または題材) 名

「古代までの日本～日本の原始時代」

(2) 対象生徒の状況

| 対象生徒 | 母語 (出身国) | 日本語習得状況 | 社会科に関する力 |
|------|------------------|---|---|
| A | ポルトガル語 (ブラジル) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 渡日11年目。 ・ 日常会話は理解しており、会話やあいさつができる。 ・ 学習言語には理解に時間がかかる。漢字の読み書きや文章を書く力は、大変厳しい。 ・ 家では母語だが、学校では日本語を話している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業はまじめに取り組み、しっかり話を聞いて、板書を写そうとするが、内容を理解しようとする時間がかかる。 ・ 難しい内容や用語は理解できていない。 ・ 宿題等の提出物は、自分だけで取り組み、完成することが難しい。 |

(3) 単元 (又は題材) の指導方針

- ①古代までの日本は、人類の出現から文明のおこりという世界の動きの中で、特に東アジアと深い関わりを持ち、稲作の伝来によって生活の変化、社会のしくみの変化が見られた。また、「くに」とよばれる政治的にまとまりをもった小国が各地にうまれた時代である。これらに関して、遺跡、青銅器・金印などの遺物、中国の歴史書などの関係資料が多い。これらの資料を活用し、適切な資料活用と適切な表現力を身につけさせる授業を実践したい。
- ②歴史の学習が始まったばかりであるので、考古学資料を提示する中で、関心意欲を高めたい。ペア学習やグループ討議を活用し、学びあう関係を強め、一人では考えが深まりにくい生徒とともに理解を深めさせたい。
- ③これからの歴史学習で何度もでてくる基礎的なことばを丁寧に説明し、歴史に関心意欲が高まる工夫を取り入れたい。

(4) 単元 (又は題材) の目標

- ①教科の目標
 - ・ 世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島での農耕の広まり、東アジアの文明の影響を受けながら、日本で国家が形成されていったことを理解する。
 - ・ 大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら、国家の仕組みが整えられ、天皇や貴族の政治が展開したことを理解する。
 - ・ 時代を大観し表現する活動を通して、2つの時代（縄文時代・弥生時代）の特色を捉える。
- ②日本語の目標
 - ・ 歴史を学ぶ上で、必要なことばの意味がわかる。
 - ・ 資料等を通して考えたことを、記述・論述できる。

(5) 単元の指導 (全3時)

| 次 | 学習活動 | 教師の働きかけ (発問○) 日本語表現の支援 (●) | 指導上の工夫・留意点 (板書・ワークシート等) |
|---|---|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 資料を見て、縄文時代の暮らしの様子で気づいたことを発表し、理解する。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">○縄文時代の人々は、どのような暮らしをしていたか考えよう。</div> ○縄文土器の使用によって、人々の生活はどのように変化したのだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> 煮炊きや保存ができるようになり、生活が向上したことを理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 教科書の資料 (想像図) を見て気づいたことを、できるだけ多くの生徒に発表させる。 縄文土器のレプリカを提示する。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> 資料を見て、弥生時代の暮らしの様子で気づいたことを発表し、理解する。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">○弥生時代の人々は、どのような暮らしをしていたのか考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> 様々な道具・技術の発展があったことを理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 教科書の資料 (想像図) を見て気づいたことを、できるだけ多くの生徒に発表させる。 稲作が伝わったことによる変化を捉えさせる。 弥生土器のレプリカを提示し、縄文土器との違いに気づかせる |
| 3 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">本時の目標</div> ① 教科の目標 <ul style="list-style-type: none"> 稲作が始まって社会はどう変化したのか、様々な資料を通して考察する。 「くに」という概念がわかる。 ② 日本語の目標 <ul style="list-style-type: none"> 「まつりごと」「したがえる」「身分」「同盟」「おさめる」など、歴史を学ぶ上で必要なことばの意味がわかる。 稲作が始まって社会はどのように変化したのか、記述・論述できる。 「稲作が始まり、生活が～のようになり、～のように社会が変わりました。」 資料を通して考えたことを、記述・論述できる。 「～がつくられたのは (出土したのは)、～だったからだと思います。」 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 前時の復習をする。 本時の課題の確認をする。 課題に対する仮説をたてる。 | <ul style="list-style-type: none"> 稲作が始まったことによる生活の変化を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">○稲作が始まって、社会はどのように変化しただろうか？</div> <ul style="list-style-type: none"> 農耕が行われると、世界はどのようになっていったか、四大文明を例に思い出させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 課題を書いた紙を黒板に貼り、課題を意識させる。 個人の考えが記入できるワークシートを準備し、しっかり書かせる。 |

| | | | |
|--|---|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・資料を通して仮説を検証する。 ・中国の歴史書を通して仮説を検証する。 ・弥生時代の社会の様子をまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えてから、班で話し合わせ、ワークシートに記入させる。 ・班ごとに発表させる。 ●「稲作がはじまり、生活が～になり、社会が～になりました。」 ○「吉野ヶ里遺跡」では、なぜ堀や物見やぐらがつくられたのだろう？ ○「かめ棺の人骨」では、なぜこのような人骨が出土したのだろう？ ・それぞれの問いについて考えさせ、発表させる。 ●「～がつくられたのは（出土したのは）、～だったからだと思います。」 ・「戦い」があったことを読み解かせる。 ・「漢書地理誌」を音読し、日本には、100あまりの小国が存在したことを読み取らせる。 ・「後漢書東夷伝」を音読し、奴という国が中国に使者を送り、「金印」を与えられたことを読み取らせる。 ・「魏志倭人伝」を音読し、「邪馬台国」という国の特徴をつかませる。 ○「なぜ、国の支配者は、中国へ使者を送ったのだろう？」 ・教科書を音読させてから、ことばの説明をする。 ・稲作が始まったことにより、道具が発達し、蓄えをもてるようになり、貧富の差や身分の違いがうまれたこと、また小国同士の争いが絶えなかったことなどから考えさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「吉野ヶ里遺跡」「かめ棺の人骨」の写真を準備し、黒板に貼る。 ・「漢書地理誌」「後漢書東夷伝」「魏志倭人伝」の資料を配る。 ・「金印」のレプリカを見せて、興味を持たせる。 ・ワークシートを準備し読み取ったことを記入させる。 ・教科書に書かれている「まつりごと」「したがえる」「身分」「同盟」などのことばを説明する。 ・自分の考えをしっかりとワークシートに書かせてから、発表させる。 |
|--|---|--|--|

(6) 板書及びワークシート・配付資料

〔板書計画〕

稲作が始まって社会はどのように変化したのだろうか？

なぜ、国の支配者は、中国へ使者を送ったのだろうか？
～弥生時代の社会の様子～

- 検証
1. 「吉野ヶ里遺跡」では、なぜ堀や物見やぐらがつくられたのだろうか？⇒戦い
 2. 「かめの人骨」では、なぜこのような人骨が出土したのだろうか？ ⇒戦い
 3. 「漢書地理誌」⇒100あまりの小国
 4. 「後漢書東夷伝」⇒中国に使者・金印を与えられる
 5. 「魏志倭人伝」⇒邪馬台国

(7) 単元を通じての成果と課題

- ・歴史の学習が始まったばかりなので、覚えるだけの学習にならないように工夫した。その工夫として、歴史の流れの中での「仮説」をたて、資料を基に「検証」という形で進めた。しかし、まだ「仮説」を立てるということや、それぞれで考えることが難しく、時間がかかってしまった。これからもこのような方法を取り入れ、考える力、表現する力をつけさせていきたい。また、歴史に興味を持てるようにしていきたい。
- ・難しい言葉や漢字が多く出てくるが、その言葉ばかりにこだわらないようにした。わかりやすく説明し、社会の様子に目を向けさせるようにした。
- ・「金印」のレプリカなどを準備することにより、イメージが広がり、興味をもたせることができた。これからも、レプリカや実物、わかりやすい写真などを準備し、進めていきたい。
- ・外国籍生徒やその他の生徒も、これからの歴史の学習を進める中で何度も出てくる言葉をしっかり押さえる必要がある。授業を組み立てるとき、教科書や資料集を読み直し、日本語の目標として、理解させなければならない言葉等をしっかり確認してから、授業に臨むようにしたい。